

令和8年度 事業計画

I 基本方針

「第5次シルバーフィールドプラン（中期計画）」の初年度にあたる令和7年度においては、同プランに基づき4つの重点項目について事業を推進してきました。特に会員の年齢層を三つ（若年齢・中年齢・高年齢）に区分し、年齢区分別に会員増強策を実施すべく検討しましたが、具体的な方策の実施には至りませんでした。

これを踏まえ、令和8年度は会員の増強と育成を最重要課題として、引き続き年齢区分別の会員増強策を検討するとともに、女性いきいき推進会議を活用し、女性会員のさらなる確保に努めるほか、重点項目の事業を推進していきます。

また、インボイス制度に対応した事務費率の改定やデジタル化による事務効率の向上に取り組み、より安定的な経営基盤を確保していきます。

【重点項目】

- 1 会員の増強と育成
- 2 就業機会の拡大と開拓
- 3 経営の健全化
- 4 組織の充実

II 事業計画

1 会員の増強と育成

令和8年度の最重要課題である会員の増強と育成に向けて、以下の内容に取り組みます。

(1) 会員の獲得・退会抑制

- ① 説明会、研修会の説明をわかりやすく行うための研修の実施
- ② 会員紹介制度の実施
- ③ 市広報紙への会員募集記事の掲載およびチラシの折込
- ④ 会員数が少ない地区路線のバスへのラッピング広告（後部・側面）の実施
- ⑤ 市民向けスマホ講座、美容講座および脳トレ講座の実施
- ⑥ 新規入会者に仕事内容を紹介するショート動画の作成
- ⑦ ハローワークや市等の関係機関との連携
- ⑧ 個人情報保護に留意した、地域班を通じた未就業会員情報の入手と共有
- ⑨ スマホ等を活用した情報共有体制の整備
- ⑩ 就業開拓員と連携した未就業会員に対する就業相談の実施

(2) 会員の意識・スキルの向上

- ① 会員研修会等を通じたセンターの理念「自主・自立」「共働・共助」の意義の周知
- ② 会員就業規約の遵守やリスク管理等に関する研修を通じた業務の履行確認の徹底

(3) 会員の年齢区分別の対応

- ① 若年齢会員に向けたセンターを短期的に活用する有用性の周知
- ② 定年退職予定者を念頭に置いたセンター情報の企業等への提供

- ③ 就業開拓員の企業訪問による、高齢者会員でも就業できる新たな仕事（筆耕、事務等）の開拓
- ④ 高齢者関連の事業や活動を行う企業・団体と連携した仕事や社会参加の機会の確保
- (4) 女性会員の確保
 - ① 女性いきいき推進会議における退会抑制策の検討
 - ② 女性対象の講座等の実施
 - ③ 女性会員の確保に向けた積極的な広報活動の展開

2 就業機会の拡大と開拓

就業機会の拡大と開拓にあたり、事務局と就業開拓員が連携し、安全・安心就業の推進、会員の技術・技能の向上等を図るため、以下の内容に取り組みます。

- (1) 就業先の獲得
 - ① ターゲットに応じた広報活動による就業機会の獲得
 - ② 公共部門に対する既存の事業の継続、新規事業の受注の働きかけ
 - ③ 新たな分野の就業先（報酬対価の高い分野等）の確保
 - ④ 女性就業開拓員の継続的採用
 - ⑤ 高齢者世帯の生活を安価で支援する「プチシルバー班」の活動の充実
 - ⑥ 会員のスキル調査を活用した受注の確保
 - ⑦ 高齢者のキャリアに応じた報酬対価の検討
 - ⑧ 刃物研ぎ等、会員のキャリアを生かした職種の拡大と充実
- (2) 就業の適正化
 - ① 全シ協「適正就業ガイドライン」の「シルバー人材センターが提供する業務」の趣旨に基づいた臨・短・軽の原則を順守したローテーション就業の徹底
 - ② 全シ協「適正就業ガイドライン」の「会員の就業形態」の趣旨に基づいた、請負委任、派遣の就業形態に沿った契約の徹底
- (3) 安全・安心就業の推進
 - ① 自転車安全運転講習を通じた、交通反則通告制度導入の周知および交通ルール遵守の徹底
 - ② 安全マニュアルの作成など、安全・安心就業を確実に実施する体制の整備
 - ③ 安全パトロールの強化
- (4) 会員の技術・技能の向上
 - ① 外部講師による各種講習会の充実
 - ② スマホ講座のさらなる充実と、地域班や職域班におけるグループLINEの活用

3 経営の健全化

自主財源の確保、情報公開の推進等、経営の健全化に向け、以下の内容に取り組みます。

- (1) 自主財源の確保
 - ① 安定的な経営基盤を確保するための適正な事務費率の検討
- (2) 事務効率の向上
 - ① 会員のデジタルスキルを向上させるための研修の実施
 - ② 契約、請求事務におけるデジタル化の推進、職員の出退勤管理の脱アナログ化の実施
- (3) 情報公開の推進
 - ① 会員と事務局職員との協力による、ホームページ等を通じた経営状況や会員活動等

に関する情報のリアルタイム発信の検討

4 組織の充実

センター組織の充実を図るため、以下の内容に取り組みます。

- (1) 運営組織の充実
 - ① 総務、事業、安全・適正就業の3委員会相互の情報共有による連携体制の強化
- (2) 会員組織の充実
 - ① 地域委員の重要性の周知および地域委員の活動に対する経費のあり方の検討
 - ② ブロック別の新入会員研修の充実に加え、未就業相談会を開催
 - ③ 各ブロックにおける地域班（地域委員）と職域班（世話人、リーダー等）との連携の強化による、きめ細やかな受注情報の収集
 - ④ 他市町シルバー人材センターの会員との交流
- (3) 事務局組織の充実
 - ① 年齢構成バランスの取れた組織体制に向けた検討
 - ② 事務分担の明確化及び、事務マニュアルの整備
 - ③ 情報セキュリティ対策実施手順の適宜更新